



IIST・中央ユーラシア調査会 公開シンポジウムのご案内
 『世界情勢の変化と中央アジア・コーカサスの現状
 - 経済開発と民主化への影響 - 』

中央アジア諸国は、石油、天然ガス等、エネルギー資源が豊富に埋蔵されていることから第二の中東地域ともいわれており、政治、外交の面でも世界から注目を浴びているところです。今年度のシンポジウムでは、『世界情勢の変化と中央アジア・コーカサスの現状 - 経済開発と民主化への影響 - 』と題して、経済発展と民主化の度合い、今後の経済外交政策、日本経済への期待などを含めて、現在中央アジアが抱える問題点などを、カザフスタン、ウズベキスタンを中心に海外招聘者から報告を受けた後、国内専門家を交え、討議します。今後の日本と中央アジア・コーカサスとの関係を皆様とともに考えていく場にしたいと思います。(日英同時通訳)

日時 : 2008年10月8日(水) 13:30 ~ 17:00 (受付開始 13:00)

会場 : 東海大学校友会館「望星の間」

(千代田区霞ヶ関 3-2-5 霞ヶ関ビル33階 / TEL03-3581-0121)

* 地下鉄銀座線虎ノ門駅(出口5番または11番)より徒歩3分

講師 : 別紙プログラムをご参照ください。

申込方法(要予約) : FAX または eメールでお名前、ご所属先等必要事項をご記入ください。(下記申込書欄ご参照)

10月6日(月)必着 (参加費無料 / 定員100名 / 先着順)

都合により講師、報告タイトル等が変更になる場合もあります。

IIST・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム 参加申込書

お申込み FAX.:03-3501-0550 eメール: asiamembers@iist.or.jp

お名前: _____

会員

非会員

ご所属: _____

ご役職

TEL: _____

FAX: _____

個人情報については <http://www.iist.or.jp/j/about/privacy.html> をご覧下さい。

お問合せ:財団法人 貿易研修センター アジア部 (担当:富所)

Tel:03-3503-6621

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20虎ノ門実業会館2階



この事業は、競輪の補助金を
受けて実施いたします。

【プログラム】

- 13:30 開会
- 13:30～13:35 主催者挨拶 IIST専務理事 赤津 光一郎
- 13:35～13:50 基調報告 袴田 茂樹 青山学院大学教授/調査会座長
『激動する国際情勢と新たな日本・ユーラシア関係』
- 13:50～14:20 特別講演 ドスム・サトパエフ Risks Assessment Group ディレクター
『カザフスタンの経済開発の現状と課題』
- 14:20～14:50 特別講演 アブドゥジャバル・アブドゥバキトフ ウェストミンスター大学
タシケント校学長
『ウズベキスタンの経済開発の現状と課題』
- (休憩 15分)
- 15:05～16:45 ディスカッション
- <モデレーター> 田中 哲二 国連大学長上級顧問/調査会代表幹事
- * プレゼンテーション
1. 清水 学 ユーラシア・コンサルタント代表取締役
『国際情勢の変化と中央アジア政治経済の現況』
 2. 渡辺 博 東洋エンジニアリング(株) 広報渉外部長
『民間企業の見た中央アジアとのビジネス』
 3. 小嶋 典明 経済産業省 通商政策局 ロシア室長
『日本と中央アジア諸国との経済関係の発展に向けて』
- * 討議(コメント、質疑応答を含む)
- カザフスタン、ウズベキスタン招聘者も討議に参加
- 質疑応答
- 16:45～16:55 モデレーター取りまとめ
- 16:55～17:00 閉会の辞
- 17:00 閉会 以上